

●東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

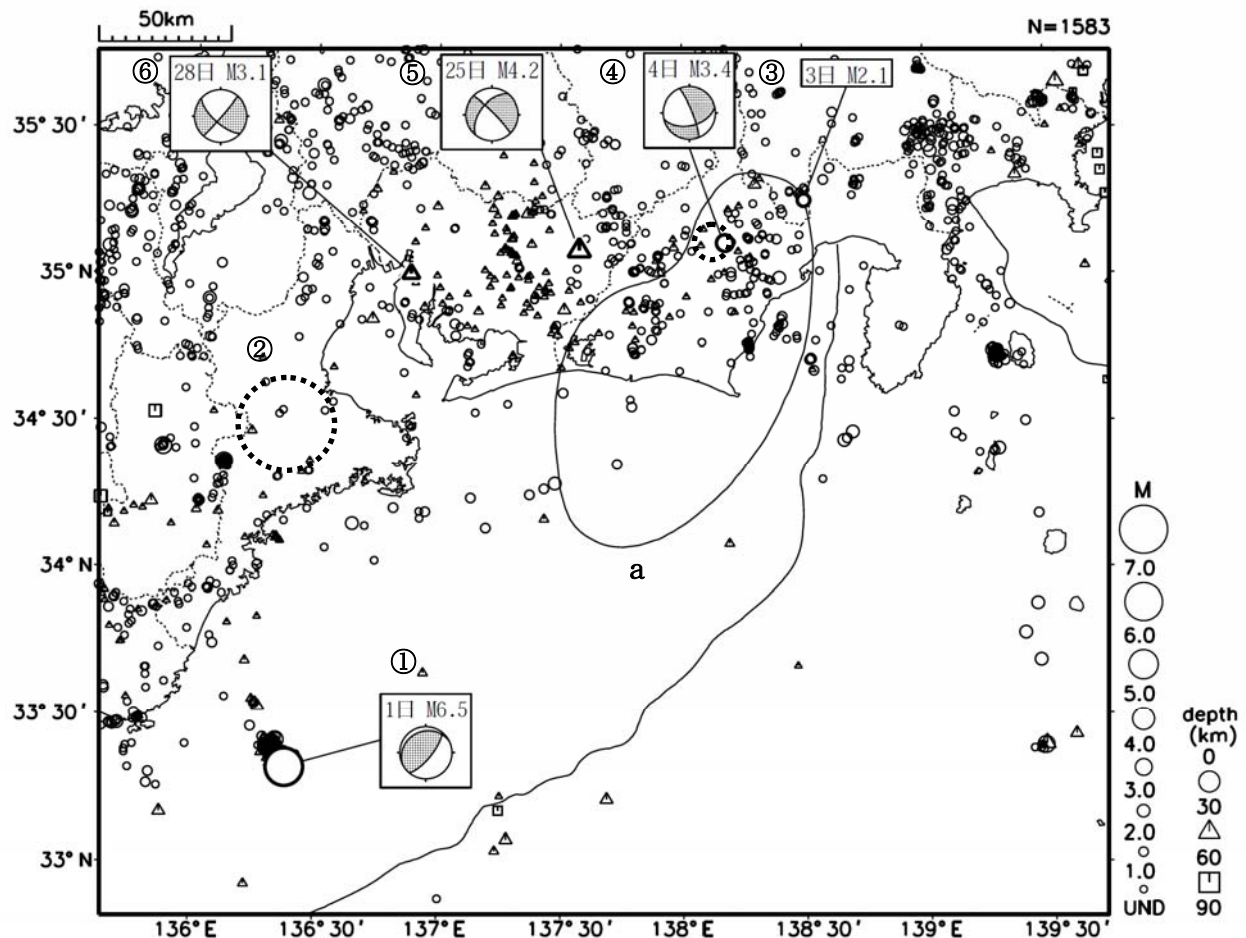


図1 震央分布図（2016年4月1日～30日：深さ0～90km、Mすべて。図中の領域aは東海地震の想定震源域。）

〔概況〕

特に目立った活動はなかった。

- ① 4月1日11時39分に三重県南東沖でM6.5の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界付近で発生した。
- ② 4月2～4日、6日に、三重県中部を震源とする深部低周波地震を観測した。
- ③ 4月3日17時37分に山梨県中・西部の深さ13kmでM2.1の地震（最大震度1）が発生した。
- ④ 4月4日12時00分に静岡県中部の深さ13kmでM3.4の地震（最大震度1）が発生

した。この地震は、発震機構が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ型で、地殻内で発生した。この付近では、2月7日から、断続的に地震活動がみられている。

- ⑤ 4月25日10時00分に愛知県東部の深さ44kmでM4.2の地震（最大震度2）が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した。
- ⑥ 4月28日11時19分に愛知県西部の深さ38kmでM3.1の地震（最大震度1）が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

注 冒頭の番号は図1中の数字に対応する